

令和7年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和8年3月31日時点)

施設名	港区立北青山地域包括支援センター (赤坂地区高齢者相談センター)						
指定管理者	社会福祉法人東京聖労院						
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 9 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	○	利用料金制の採用	○	使用許可権限の付与	ー
施設所管課	保健福祉支援部高齢者支援課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規	非正規		委託（シルバー人材センター等）			合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
職員数	9	9	0	0	0	0	9
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和 年度	備 考	
正規・非正規職員の退職者数	3	3	1	1			

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和 年度	備 考
総合相談件数（件）	17,453	17,499	16,611	16,215		
予防プラン作成件数（件）	2,900	2,816	2,658	2,624		
訪問件数（件）	2,122	1,827	1,819	1,823		

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項 目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和 年度	備 考
経費実績	収入	61,779,804	61,445,322	66,786,228	70,648,164	0	
	指定管理料（清算後）	58,268,343	57,922,528	63,351,185	67,446,100		
	利用料金収入	3,511,461	3,522,794	3,435,043	3,202,064		
	その他収入	0	0	0	0		
	支出	59,049,902	57,997,322	63,070,041	67,446,100	0	
	職員人件費	51,979,900	52,291,198	57,491,243	61,742,563		
	光熱水費	579,006	393,063	494,861	470,261		
	修繕費	149,996	0	95,700	83,600		
	事業運営費	4,834,352	4,232,808	4,393,466	4,554,905		
	施設管理経費	435,648	0	0	0		
	その他経費	1,071,000	1,080,253	594,771	594,771		
	差引収支額	2,729,902	3,448,000	3,716,187	3,202,064	0	
	年度協定書で定める指定管理料	59,768,000	58,199,264	65,662,925	70,321,883		

5 管理運営状況に対する評価

項 目		評価視点	指定管理者に よる評価	区による評価		
				評価	加算	点数
【施設の 維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	- / -	- / -	×1	- / -
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	- / -	- / -	×1	- / -
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	- / -	- / -	×1	- / -
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声等を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	3 / 5	3 / 5	×5	15 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	3 / 5	×2	6 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
区による評価合計点						71 / 85

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	区民向けの介護予防講座、区民講座及び認知症サポーター養成講座等を事業計画に基づき実施しました。民生委員との勉強会は2回開催し、地域のケアマネジャーも交えて課題の共有や顔の見える関係づくりを進めることができました。また、オレンジカフェ開催前の昼食会の実施により、オレンジカフェの参加者数を継続的に増やすことができました。職員については、異動や入退職が少なく安定した体制を維持できたことにより、職員間のコミュニケーションがより円滑となり、課題の共有や三職種間の連携強化につなげることができました。さらに、策定済みの業務継続計画の見直しを行い、訓練を実施することで、災害時や感染症発生時においても業務継続が可能となるよう取組みました。加えて、全職員を対象に情報セキュリティ研修を実施し、リスクが顕在化している業務についてはダブルチェックを徹底するなど、個人情報保護に努め、事故なく業務を実施できています。
区（施設所管課）による評価	介護予防講座及び認知症サポーター養成講座等を継続的に実施するとともに、民生委員や地域のケアマネジャーとの勉強会を開催し、地域関係者との連携強化及び課題共有に取組み、地域における相談支援体制を一層充実させることができました。また、オレンジカフェの運営においては、昼食会の実施を組合わせる等の工夫により参加者増加につなげ、利用者ニーズを踏まえた事業実施の工夫が見られます。加えて、業務継続計画の見直し、訓練の実施及び情報セキュリティ研修の実施等により、危機管理及び個人情報保護についても適切に対応されていると評価できます。ただし、職員体制については、入退職や異動が少なかったものの、区の求める職員配置基準を満たしていない期間がありました。同様の事態が今後発生しないよう、法人本部との連携を更に強化する等の改善を求めます。今後も引き続き事業実施の工夫をし、地域包括ケアシステムの更なる深化に寄与することを期待します。

6 評価

令和7年度の管理運営に関する総合評価

A

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）

A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）

B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）

C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）